

5. 間取り図記号クイズ 記号問題 解説あり

間取り図記号のクイズ問題です。間取り図記号名が書いてあるので、その間取り図記号を書いてみましょう。その間取り図記号の解説も掲載しているのでヒントになります。

平面図					
引き違い窓 左右 2枚のガラス戸をスライドして開閉する窓。 左右どちら側も開く事ができ、換気・採光にも有効です。	片引き窓 片側がはめ殺し窓 (FIX 窓) や障子を開けられる窓です。 片方の窓のみで開閉するため、引き違いと比べて機能面ではやや劣ります。	片開き窓 左右どちらか一方に開閉するタイプの窓。最も一般的な形式で、通風・採光に有効です。	装飾窓 (FIX) 採光・換気を目的として取り付けられる窓です。窓枠は、デザインや大きさではある程度自由で飾り窓的な要素もあります。	装飾窓 (その他) 採光・換気を目的として取り付けられる窓です。窓枠は、デザインや大きさではある程度自由で飾り窓的な要素もあります。	縦すべり窓 窓枠の上下に設けられたレールに沿って、窓を外側 (室内側) にすべり出させて開けるもの。
シャッター 幅の小さい金属板をすたれ状に組み合わせた、巻き込むことのできる戸。	雨戸 防犯、断熱、遮音、遮光などを目的とし、縁側・窓などの外側に設置する。	片開き戸 左右どちらか一方に開閉するタイプの戸。開くためのスペースが用を元といいえます。	両開き戸 左右 2枚の戸が開閉するタイプの戸。人の出入りが多いところや、大きな荷物を出し入れが必要な場所に設けられます。	親子扉 2枚のドアが大小異なる両開きドア。日常時はドアをロックしておき、親子の出入り時に片開きドアに使用するので、大きな荷物を出し入れが必要ない親子ドアにも使われます。	引き違い戸 左右 2枚の戸をスライドして開閉する。押し入れの戸などに見られ、3枚や4枚の戸で構成する場合もあります。
引き込み戸 戸をスライドさせて壁の中に引き込みタイプの戸。開閉するためのスペースは少なくすみますが、引き込むための場所が必要。	アコーディオンカーテン 柔らかいアコーディオンのように巻き込みながら開閉するカーテン状の建具。	折戸 開いたときに折りたためるタイプの戸。開くためのスペースがあまりない場所 (浴室) などに用いられます。	2枚折戸 開いたときに折りたためるタイプの戸で、2方向に開く戸が2枚付いています。クローゼットなどによく使われます。		

立面図					
引き違い窓 左右 2枚のガラス戸をスライドして開閉する窓。 左右どちら側も開く事ができ、換気・採光にも有効です。	片引き窓 片側がはめ殺し窓 (FIX 窓) や障子を開けられる窓です。 片方の窓のみで開閉するため、引き違いと比べて機能面ではやや劣ります。	片開き窓 (ドア) 左右どちらか一方に開閉するタイプの窓。最も一般的な形式で、通風・採光に有効です。	はめ殺し窓 (FIX 窓) 採光・換気を目的として取り付けられる窓です。窓枠は、デザインや大きさではある程度自由で飾り窓的な要素もあります。	上げ下げ窓 上下にスライドして開閉する窓。上下 2枚とも開くダブルハンクがある。場所を取らずに採光・通風が確保できる。	縦すべり窓 窓枠の上下に設けられたレールに沿って、窓を外側 (室内側) にすべり出させて開けるもの。
内倒し窓 窓の下部を軸として、窓の上部側 (室内側) に倒して開けるもの。室内側へのみ開閉し、室外側にはみ出さない。場合によっては開閉が難しい場所にも取り付け可能。	外倒し窓 窓の下部を軸として、窓の上部側 (室外側) に倒して開けるもの。	平行突出し窓 ハンドルを押すと窓が 10cm ほど外側に突出る形式。風が直接入らず、換気がスムーズに行える。	オーニング窓 建物の小窓を連結し、ハンドル操作で開閉する窓。水平に重ねた複数の細かいガラス板をハンドル操作で開閉する「ルーバー型」と比べて、換気や遮音性が高いといわれています。	面格子窓 窓との開口部に取り付けられた格子のこと。台所、トイレ、浴室の窓や外に面した廊下などに、防犯のために取り付けられる事が多いようです。	シャッター 幅の小さい金属板をすたれ状に組み合わせた、巻き込むことのできる戸。
	雨戸 防犯、断熱、遮音、遮光などを目的とし、縁側・窓などの外側に取り付けられる。				

断面図					
Ground Line GL=Ground Line (地上面) の高さ。又はその高さを表す線のこと。	Floor Line FL=Floor Line (フロアライン) の高さ。床仕上げの上端面のレベルを示します。 1FL=1階フロアライン、2FL=2階フロアライン	軒高 柱の上部をつなぐために回す木材を桁とよび、設計上の地盤 (GL) から桁の突っ張りまでの距離を軒高という。2階桁突っ張りまで、柱高の軒高といわれ、建築基準法の規程の基準になる。	Ceiling Height CH=Ceiling Height の略称です。Ceiling とは天井のこと、Height とは高さのことです。 CH=2400 と書いてあれば天井高さ 2.4メートルあるという意味です。	北側斜線 北側斜線制限は、南側にある建築物の高さを制限して、北側の敷地の日照や通風を確保するものです。	道路斜線 道路面の日照などを確保するため、建築物の高さを、前面道路の反対側境界線と一定角度の斜線事、この斜線と建物の高さとの関係を確認する必要があります。
道路境界線 敷地と道路境界線として、敷地と道路の境界線の境界を示しています。建築基準法では原則、道路の幅は 4m (特定高度地域では 6m) となっています。幅員が 4m に満たない場合、敷地に道路境界線を寄せる必要があります。	道路中心線 道路の位置を定める際の基準となる中心位置のこと。この道路中心線に幅員が割り当てます。道路中心線が現況の道路の幅の中心位置を定るとは限らない。				

配置図					
主要な出入口 日常的に人が出入りする場所のこと。	ベンチマーク BM=Bench Mark の略で、敷地や建物の高さの基準レベル点を指します。BM は、施工時の基準マークになるので、動かさないものを基準とします。主にマールなどがあります。	雨水樹 屋根を覆った排水配水管の接続箇所や配水管の合流地点。配水管の曲がりや排水こう配が変わるところ、道路と敷地との項目付近 (最終樹) に、排水設備の維持管理のために設ける樹。	汚水樹 家庭から出る汚水。接続箇所や配水管の合流地点。配水管の曲がりや排水こう配が変わるところ、道路と敷地との項目付近 (最終樹) に、排水設備の維持管理のために設ける樹。	レベル ±0、+100 等の表記になります。BM を基準とした敷地のレベルを表します。レベル1=1mm。	

部屋の広さ 計算方法					
帖 (畳) 1帖=1.65㎡ 畳 1枚分の広さ。一般的な住宅のトイレクローゼットの広さ。畳のサイズは関東圏、京間、マンションサイズとがありそれぞれ多少異なります。	m² m ² × m で求めた面積の単位。一般的な住宅のトイレクローゼットの広さ。畳のサイズは関東圏、京間、マンションサイズとがありそれぞれ多少異なります。	坪 1坪=約 3.31㎡ (畳 2枚分) 一般的な住宅の UB (ユニットバス) や洗面室の広さ。	m² → 帖 m ² ÷ 1.65 m ² から帖数を知りたい場合の計算方法。1.65 m ² = 1帖 (畳 1枚分)	m² → 坪 m ² × 0.3025 m ² から坪数を知りたい場合の計算方法。一般的な住宅の敷地面積=100 m ² × 0.3025 = 30.25坪	帖 → m² 帖 × 1.65 帖数から m ² を知りたい場合の計算方法。1帖 × 1.65 = 1.65 m ² (1帖は 1.65 m ²)
坪 → 帖 坪 × 2 坪数から帖数を知りたい場合の計算方法。1坪 × 2 = 2帖 (畳 2枚分)	帖 → 坪 帖 ÷ 2 帖数から坪数を知りたい場合の計算方法。2帖 ÷ 2 = 1坪 (一般的な住宅のUB、洗面室の広さ)	一寸 一寸=3.03cm (一尺の1/10)。 3.03cm × 10 = 30.3cm → 一尺	一尺 一尺→30.3cm (一寸の10倍) 三 尺→90.9cm (約 91.0cm→910mm)。一般的な敷地面積の住宅の寸法基準。910 mm ジュールと呼ばれる。	一間 一間→1.8182m (尺の 6倍) 六尺 尺の長1方向の辺の長さ、ふすま 2枚分の長さ。	

部屋名・スペース名					
マスターベッドルーム マスターベッドルーム。「主寝室」を表します。洋室のうち最も広いものが主寝室と呼ばれます。	ベッドルーム ベッドルーム。「洋室」を表します。	サービスルーム (納戸) サービスルーム (納戸)。採光基準を満たさない部屋。居室として認められていない部屋。多目的ルーム、スニールーム、フリールームなど。	ユニットバス ユニットバス。あらかじめ工場で作成されたユニットバス。洗面・トイレ・浴槽・鏡、床などのパーツを揃えて組み立てる。多目的な浴室として広くバスルームのこと。通風の浴室より施工が早い。	ウォークインクローゼット ウォークインクローゼット。お風呂に設置される。人が中を歩けるほどの広さを確保した収納スペース。	シューズインクローゼット シューズインクローゼット。玄関にある広い収納で、靴やスカーフ、ゴルフ用品なども収納できます。
ロフト ロフト。屋根裏部屋を表す。天井の下部に 2 階のようなスペース。	パイプスペース パイプスペース。トイレ、キッチン、洗面室から流れる配管を収納するスペース。	リビングダイニングキッチン リビング (居間)、ダイニング (食卓)、キッチン (台所) の意味で、居間・食事室・台所が一体となった空間。			

電気記号					
スイッチ 部屋の電気など、壁に付いているスイッチや押すタイプのスイッチの記号。	3路スイッチ 3路スイッチとは、1つの照明を 2か所のスイッチで ON/OFF できるスイッチのこと。	コンセント 壁についているコンセントの記号等です。数字の「2」は差し込み口が 2つあるコンセントのこと。	アース付きコンセント コンセント記号の横の「E」はあるときは、アース (接地) を表しています。	防水コンセント コンセント記号の横に「W」があるときは、防水のコンセントを表しています。W は water の頭文字。	TV コンセント テレビ用のコンセントの記号。テレビを見るために必要なコンセントです。
電話 電話に使うコンセントの場所を示しています。電話の室内配線の参考にする事ができます。	エアコンコンセント エアコンを設置するときに使用するコンセントの記号。壁の高い場所にあることが多い。	シーリング シーリングライトを設置できる場所の記号。天井に設置されている。	ダウンライト ダウンライトを表す記号。ダウンライトとは、天井に埋め込まれている小型の照明のこと。	ブラケット この記号ではブラケットライトのある場所を表しています。ブラケットライトとは、壁に取り付けられている照明のこと。	蛍光灯 この記号は、蛍光灯がある場所を表しています。天井に設置されています。
換気扇 (壁) 壁に設置されている換気扇を表しています。設置には、換気設備を設置する必要があります。	給気口 室内の壁にある換気口の記号です。外からの空気を取り入れられます。	24 時間換気 24 時間換気する換気口を表しています。	分電盤 家のなかにある分電盤を表す記号です。各部屋へ電気を分配し、使用量や漏電の管理をします。		

